

## 7. 国際交流

---

### 7.1 国際交流委員会

委員長：石川 倫子 教授

委員：木森准教授、金谷准教授、松本智准教授、工藤講師、大江講師

委員補助：大橋助教、川俣助教

事務局：久保石専門員

活動内容：

<前年度までの課題>

コロナ禍の影響を受け、海外研修をオンラインで企画した。アメリカ研修の参加者は4名で催行、タイ研修は参加者がいなかったため中止した。今年度も参加者が少なく、催行できない状況が予測される。学生の異文化理解を深めるために、米国教員によるオンライン講義の実現を図り、日本在留の海外留学生との対面での交流機会をつくる。

<今年度の目標・年度計画>

1. 国際看護演習Ⅰ（アメリカ）、国際看護演習Ⅱ（韓国）を実施し、学生の異文化理解や海外における保健医療福祉活動の理解を深める。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、現地研修が難しい場合は、オンライン研修を検討する。
2. 国際コミュニケーション力を強化するために、米国からの教員を招聘し、コミュニケーションを図る機会の提供を行う。
3. 日本在留の海外留学生等との交流を実施し、異文化理解を深める機会とする。
4. 学生向けのネイティブによる語学講座を実施し、語学力の向上を図る。

<今年度の活動実績・評価>

1. 国際看護演習Ⅰ（アメリカ）、国際看護演習Ⅱ（韓国）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、現地での海外研修は中止とし、代替えとしてオンラインでの企画に変更した。
  - 1) 国際看護演習Ⅰ（アメリカ）は2名の応募があった。2名の学生の演習実現のために、企画が同じであった一般向けの企画に参加することにし、2名の学生が履修し単位を取得できた。
  - 2) 国際看護演習Ⅱ（韓国）は募集を行い応募2名で定員を満たせず、中止となった。
2. 米国からの教員の招聘は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のために実現できなかった。米国教員によるオンラインでの講演会および教員向けの個別指導は実施できた。

（法人本部事業 中期計画達成等事業に応募し、採択されて事業を実施した。）

  - 1) イリノイ大学教授Doorenbos先生による本学教員・大学院生向け講義「Pragmatic Trials to Advance Nursing Practice」を8月23日（火）15:00－16:30に開催した。参加者は51名で、看護実践を進歩させるための実用的な臨床試験研究デザインに関する講義で、今後の研究について活発な議論がなされた。
  - 2) イリノイ大学教授Doorenbos先生による教員向け個別研究指導を8月30日（火）15:00－16:30に行い、本学教員2名が個別指導を受けた。

- 3) コロラド大学看護学部教授Heather Coats先生による学部生向け講義「Pathways to Becoming Nurse Leaders: My Nursing Story」を8月24日（水）8:00-10:00に開催した。参加者は9名であった。看護師のリーダーになるための道として講師の経験を語って頂き、学生からの活発な質問がなされた。
3. International Caféは、石川県タイ友好協会の協力を得て、3月1日（水）13:30～15:00に本学地域ケア研修室にて対面で開催し、学生・教員7名の参加があった。留学生の母国の文化や生活をプレゼンテーションして頂き、意見交換など行い交流を深めた。
4. 学生向け語学講座は、昨年から引き続き業者による英語講座（初級コース、中級コース学生4名）を5月から、ネイティブの講師による韓国語講座（学生7名）を在学学生は4月、新入生は7月から、月2回通年でオンラインまたは対面にて開講した。語学力修得支援の評価を受講前後に実施して、その効果を明らかにした。  
（法人本部事業 中期計画達成等事業に応募し、採択されて事業を実施した。）

#### <次年度以降に向けた課題・発展>

国際看護研修への参加者を増やすために、前期授業時も国際看護演習を開講する、新年度ガイダンスで国際看護演習のアナウンスをするなど、学生の参加しやすい時期、学生の国際研修の関心度を高める工夫を行う。米国教員の招聘を実現し、学生の異文化理解、国際看護への関心を高める。

## 7.2 アメリカ看護研修

アメリカ看護研修に1年生2名が参加し、オンラインでの視察、講義などの学びを学生一人一人が英語で発表し研修を終えた。今回は一般向け研修に参加したので、日本の他大学の学生との交流もあり学びがより広がった。

日 時：8/22～8/27（月～土）8:30～11:40（現地時間16:30～19:40）

方 法：オンライン

内 容：

- ・ワシントン大学看護学部 Simulation Center オンライン研修  
ワシントン大学看護学部学生と Q & A
- ・ワシントン大学看護学部准教授 上月頼子先生によるオンライン講義とQ & A  
「アメリカの保健医療制度や看護教育、ナースプラクティショナーの役割」
- ・Harbourview Medical Center オンライン研修
- ・チルドレンズホスピタル オンライン研修  
日本人ナースによる看護オンラインセミナー「現場から見た日米医療と看護の違い」  
日本人ナースへの Q & A
- ・ニッケイマナー オンライン研修 ※ 軽介護施設での高齢者看護ケアについて学ぶ
- ・ワシントン大学の教員によるEnglish Lesson
- ・プレゼンテーション(学びの発表) Closing 修了証書の授与